

社団法人 日本病院会 平成21年度 第9回 定期常任理事会 議事抄録

日 時 平成21年12月19日(土) 13:00～17:00
会 場 社団法人 日本病院会 5階 会議室
出席者 山本 修三 会長
池澤 康郎、佐藤 眞杉、堺 常雄、大井 利夫、村上 信乃、宮崎 忠昭 各副会長
林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、梶原 優、齊藤 壽一、木村 壯介、末永 裕之、
松本 隆利、大道 道大、小川 嘉誉、安藤 文英、宮崎 久義、須古 博信
各常任理事
柏戸 正英、中川 正久、石井 孝宜 各監事
加藤 正弘 代議員会議長、野口 正人代議員会副議長
大道 學、奈良 昌治 両顧問
高久 史麿、鴨下 重彦、松田 朗、宇沢 弘文、太田真理子(久常 節子会長代理)、
堀内 龍也、邊見 公雄 各参与
宮下 正弘、高橋 正彦、藤原 秀臣、関口 令安、岡留健一郎、星 和夫、有賀 徹、
佐合 茂樹、大道 久 各委員長
西村 昭男、福田 浩三、細木 秀美、福井 洋、高野 正博 各支部長
岡 敬二(大分県・大分岡病院理事長・10月24日入会会員)

堺副会長の議事進行により会議に入った。

開会にあたり、山本会長から、開会挨拶を述べたのち、会議定足数として、定数24名中、出席20名、委任状3通、計23名(過半数13名)で会議が成立している旨の報告後、議事録署名人に宮崎 久義、松本 隆利 両常任理事を選任した。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会以後の会員異動として、正会員の入会2件の届出について紹介された。協議の結果、入会を承認した。

(正会員の入会2件)

- ①北海道・医療法人・禎心会 新札幌恵愛会病院(会員名：八十島 孝博 理事長)
- ②福岡県・医療法人・済世会 河野病院(会員名：河野 正美 理事長)

2. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

下記施設の指定を承認した。

(新規認定施設 1施設：Ver2/2009/12/19～2014/3/31)

- ①北海道・医療法人社団札幌循環器クリニック札幌循環器病院

(更新認定施設 6施設：Ver2/2010/4/1～2015/3/31)

- ①東京都・池袋ロイヤルクリニック
- ②福井県・福井県済生会病院
- ③大阪府・淀川キリスト教病院健康管理増進センター

- ④愛知県・中日新聞社健康保険組合 中日病院健診センター
- ⑤兵庫県・公立学校共済組合 近畿中央病院
- ⑥岡山県・財団法人 倉敷中央病院 総合保健管理センター

3. 診療情報管理士認定試験受験校の指定について

下記2施設の指定を承認した。

- ①東京都・学校法人・専門学校 首都医校(診療情報管理学科)
- ②東京都・日本工学院八王子専門学校(診療情報管理士科)

4. 特例民法法人の内部留保について

厚生労働省・医政局長から本会宛に「特例民法法人の内部留保の水準の適正化等」についての通知が届いた。内容は、直近の決算において内部留保の水準が30%を超えている場合は、平成22年3月末までに、基本財産への組み入れ、公共事業の拡大、法人の目的に合致した団体への寄附等を行い、超過分の解消を図ってほしいという内容であり、超過分の解消については、「改善計画書」を12月18(金)までに厚労省の所管担当課に提出願いたいという要請であった。対応を会長・副会長会議で検討した結果、顧問会計士への相談、指導を受け内部保留改善計画を作成し厚労省に提出旨の報告があり、了承された。1月12日開催の理事会に上程することとした。

5. 関係団体からの依頼について

下記依頼事項について、検討した結果、依頼を承認した。

(新規：後援)

- ①看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォーラム(日本看護協会)の後援

〔報告事項〕

1. 各委員会等の開催報告について

下記委員会報告が実施され、了承された。

(1)医療安全対策委員会(第1回・11月27日)

①21年度医療安全管理者養成講習会の報告：講習会実施概要を報告。②来年度の日程について：第1クール22年7月2日～3日、第2クール22年9月10日～11日、第3クール22年12月10日～11日。③次年度カリキュラムについて：「医療安全支援センターの役割」を新規に追加した。

(2)日本診療情報管理学会倫理委員会(11月30日)

①「診療情報学」の作成に伴う今後のスケジュールを検討。②診療情報管理士業務指針の検討。

(3)診療情報管理士教育委員会(第3回・12月12日)

①平成21年度第3回診療情報管理士認定試験の実施について：受験者応募数、試験対応の概要を報告。②指定大学・指定専門学校について：授業時間、実習時間の変更を報告。③通信教育のシステム等について：携帯電話サイトの設置報告等。

(4)診療情報管理士通信教育・全国一斉講師会(12月12日)

①厚労省統計情報部による ICD 改訂の動向についての講演②各小委員会による委員会活動報告を実施。

(5)診療情報管理士通信教育・平成 21 年度前期スクーリング(21.8/21～11/22 分)

・ 7 会場で延べ 25,856 名の受講。

(6) 診療情報管理士通信教育・DPC コーススクーリング(21.9/25～11/27 分)

・ 4 会場で延べ 6,531 名の受講。

(7) 診療情報管理士通信教育・コーディング勉強会(21.11/21～12/14)

・ 13 会場で延べ 485 名の受講。

(8)第 9 回人間ドック施設認定小委員会/人間ドック健診施設機能評価委員会(12 月 2 日)

①人間ドック健診施設機能評価について:12 月 2 日現在、2434 施設となった旨の報告 等。

(9)医療制度委員会(第 8 回・12 月 2 日)

①社会保障審議会・医療部会について:医療保険部会(11/25)に提出された「平成 22 年度診療報酬改定の基本方針」の考え方の中(改定の意見が両論併記となっている点)についての意見交換。②中医協の動向報告:民主党のマニフェストに関する意見交換を実施。

(10)地域医療委員会(第 15 回・12 月 2 日)

①当面の諸問題について:医師及び看護師不足、病院経営問題に関する意見、情報交換を実施。②委員会報告書の取りまとめについて:4 つのテーマに絞り各委員に執筆願うこととした。

(11)中小病院委員会(第 3 回・12 月 11 日)

①情報交換会について:平成 22 年 2 月 20 日(土)に和歌山県病院協会の協力を得て、テーマを「リスクマネジメント～中小病院の取り組み～」として開催。②第 60 回日本病院学会シンポジウムについて:22 年 7 月 22 日開催のテーマ、シンポジストの概要報告。

(12)臨床研修指導医養成講習会(12 月 11 日～13 日・日本病院会会議室)

・参加 50 名(修了者 50 名)

(13)医療経済・税制委員会(第 8 回・12 月 15 日)

①平成 22 年度税制改正に関する要望について:各党へのヒアリング報告。②病院経営分析調査(平成 20 年度決算分析)について:集計結果取りまとめの進捗状況報告。

2. 日病協諸会議の開催報告について

(日病協諸会議)

(1)診療報酬実務者会議(第 53 回・12 月 9 日)

①平成 22 年度診療報酬改定について:医療保険部会、医療部会、中医協の現状報告を実施。

②平成 22 年度診療報酬改定に係る要望書(第 3 報)について:厚労省からの依頼を受けた課題について検討。

(2)診療行為に関連した死因究明制度に係るWG(12 月 18 日)

①民主党案についての検討 等。

(3)代表者会議(第 63 回・12 月 18 日)

①中医協の報告:協議事項として対応②第 53 回実務者会議の開催報告③診療行為に関連した死因究明制度に係るWGの報告。

(各党のヒアリング)

- ・12月16日(水) 自民党「厚生労働部会診療報酬ワーキング」のヒアリング
- ・12月16日(水) 民主党「適切な医療費を考える議員連盟」のヒアリング

上記のヒアリング出席報告を実施。

(東京都支部の診療報酬改定要望)

- ・12月16日(水) 民主党

東京都支部が東京都の民主党議員に対し、実施した診療報酬改定要望(陳情)報告。各支部、役員に対して、各都道府県下の民主党議員を通じ、要望実施を行ってもらうよう要請。

3. 中医協等の開催報告について

下記諸会議の開催報告と併せ中医協における平成22年度の診療報酬改定の取り組みについて概要説明を実施した。

(1) 社会保障審議会

12月3日(木)に開催された医療部会の概要報告を実施した。

(2) 中医協

12月2日(水) 総会(154回)、診療報酬基本問題小委員会(152回)、薬価専門部会(59回)

12月4日(金) 総会(155回)、診療報酬基本問題小委員会(153回)

12月9日(水) 総会(156回)、診療側委員記者会見、薬価専門部会(60回)

12月11日(金) 保険医療材料専門部会(42回)、薬価専門部会(61回)、
診療報酬基本問題小委員会(154回)

12月16日(水) 診療報酬基本問題小委員会(155回)

12月18日(金) 総会、診療報酬基本問題小委員会(156回)、保険医療材料専門部会(43回)

(3) 診療報酬調査専門組織

11月30日(月) DPC 評価分科会(14回)

4. 四病協について

下記所会議の開催報告を実施した。

(1) 医療保険・診療報酬委員会(第9回・12月4日)

①中医協報告②第17回医療経済実態調査報告のまとめについて：修正要望内容を検討。

(2) 厚労省・福祉医療機構・四病協合同勉強会(第13回・12月16日)

①平成22年度税制改正に関する(事業税優遇廃止等)に関する意見交換を実施。

(3) 総合部会(第9回・12月16日)

①外国人看護師候補者の受入れについて：受入れに伴う各種問題点を四病協としてWGを設置することとなり、各団体から委員2名を選出することとなった。②診療における患者自己負担金の未収問題調査の経過報告について：3月までに調査報告書を取りまとめることとした。③産業廃棄物適正処理推進基金の出えんについて：実情に見合った支援金を今後検討することとした。④平成22年度診療報酬改定について：協議事項での検討とし、省略。

5. 行政関係の各種検討会等について

下記諸会議の報告が実施された。

(1) 内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会(第5回・11月30日)

- ①前回の検討会(第4回)で取りまとめた検討会報告書骨子(案)の概要説明を実施。
- (2)改正消防法に基づく消防計画に関する調査検討委員会(第2回・12月3日)
 - ①改正消防法に基づく消防計画に関する調査検討について：消防訓練の実施手法、ケーススタディ、消防計画の見直し・改善に係るPDCA手法についての検討。

6. 関係団体の各種検討会について

下記会議の報告が実施された。

- (1)日本医師会・医事法関係検討会(第10回・12月4日)
 - ①医事法関係検討委員会としての答申書(案)を検討した。

7. 新年賀詞交歓会の開催について

22年1月12日(火)に帝国ホテル本館中2階「光の間」で開催する旨の報告があった。

8. その他

- (1)外国人看護師・介護福祉士候補者受入事業について
(社)国際厚生事業団から支援策についての概要説明が実施された。

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

診療報酬改定への取り組み対応の流れについて報告があった。日病協では診療報酬改定に向け実務者委員会、代表者会議で要望書の取りまとめを検討し第3報まで実施した。最終的な第3報では、①入院基本料の根拠に基づく算定方式の創設と増額、②7:1、10:1入院基本料算定病棟における看護補助加算の新設と看護基準の運用変更、③効率的な人材活用(専従要件の廃止、等)④診療情報のIT化における正当な点数設定としている旨の概要について説明。さらに、中医協の動向報告、厚労省が示した平成22年度診療報酬改定の考え方を紹介等について報告があったのち、東京都支部が実施した病院医療の再生に関し民主党への陳情要望が紹介された。東京都支部の陳情を模範とし、大阪府下でも会員施設からの陳情書の取りまとめを実施する旨の報告があった。このたびの診療報酬改定に伴う活動については、各都道府県下の民主党議員を通じ要望することが必需となっており、各支部長への協力要請を仰ぎ今後の対応を検討した。

各支部長の意見としては、診療報酬改定率は、来週一杯で取りまとめられるので、早急に対応を図るべきであると意見一致を見、さらには、支部だけではなく各都道府県の病院協会にも協力を仰ぎ一致団結して行動を図ることを確認して議了した。

以上